

第4章 PCAP、副専攻プログラム、全学オープン科目

1. PCAP、副専攻プログラム、全学オープン科目とは

本学を卒業するためには、共通教育科目 36 単位、専門教育科目 64 単位（経済学部のみ 74 単位）を含め 124 単位以上を修得することが要件となります。つまり、共通教育及び専門教育科目で卒業要件として定められている以外の「24 単位（経済学部のみ 14 単位）」については、学生個人の主体的意欲・創意工夫に基づき、自身で履修計画を立てる必要があります。

【24 単位（経済学部のみ 14 単位）の活用例】

- ・ 所属学科の「専門教育科目」の中から数科目、「共通教育科目」の中から数科目、「全学オープン科目」の中から数科目といったように、自身の興味・関心に従って自由に組み合わせて履修する。
- ・ 「副専攻プログラム」の指定科目を修得することにより、所属学科の卒業証書とは別に「副専攻修了証」の授与を受ける。
- ・ 自分の所属する学科の「専門教育科目」について、64 単位（経済学部のみ 74 単位）を超えて修得し、その専門性についてより高い水準を目指す。
- ・ 全学の共通教育として開講されている「共通教育科目」について、36 単位を超えて修得し、幅広い視野や総合的な判断力を養うことを目指す。
- ・ 各学部・学科が全学に開放している「全学オープン科目」を修得することによって、学際的な視野を持った学識を有することを目指す。

【PCAP（全学共通実践的キャリア開発プログラム）】

PCAP（Practical Career Advancement Program）は、卒業後の進路目標を明示した、全学共通の実践的なキャリア開発プログラムです。プログラムには2つのコースがあり、どの学部の学生もコース登録することができます。プログラムを構成する科目を履修して修得した単位は、卒業要件単位として算入されます。

【副専攻プログラム】

本学では学生自らの知的好奇心と学修意欲に基づいた履修に応えるため、「副専攻」制度を導入しています。これは、自分の所属する学科以外の専門教育を体系的に履修することができる制度です。

副専攻には、10 のプログラムが設定されており、これによって各自がその興味に基づき専攻以外の分野についても計画的、体系的に学ぶことが可能となっています（P98～参照）。副専攻プログラムの特徴は、

- ・ 主に、各学部・学科から提供された専門教育科目を組織化したプログラム
- ・ 学部・学科の専攻コースの枠を超えた学際的プログラム
- ・ 資格や免許取得を目指すための基礎学修的なプログラム

からできているということです。副専攻は、1 年次から登録することが可能で、所属学科以外の専門的な教育を受けることが可能になります。各プログラムで設定された単位を修得することで、所属学科の卒業証書に加え「副専攻修了証」が授与されます。

なお、副専攻プログラムの履修登録にあたっては、所属する学科の専門教育科目として開講されている科目や他学部・学科の学生が履修できない科目もありますので、当該年度の『WEB 時間割表』を確認してください。

【全学オープン科目】

所属学科以外の専門教育科目を履修したい場合は、各学部・学科が全学に開放している「全学オープン科目」（P107～参照）から、自身の興味・関心に基づき自由に履修することが可能です。修得した単位は、24 単位（経済学部のみ 14 単位）を上限に卒業要件（124 単位）に算入されます。

なお、全学オープン科目であっても、所属する学科の専門教育科目として開講されている科目や他学部・学科の学生が履修できない科目もありますので、履修登録にあたっては、『WEB 時間割表』を確認してください。